

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.11



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」
の笑顔あふれる補習校～



安心安全な補習校を目指して

2023(令和5)年 6月17日

文責 校長 佐藤 博

先日はスポーツデーのご参加、お疲れさまでした。子どもたちだけでなく、保護者の皆様も日本文化を思いっきり楽しんでくださったようで、大変嬉しく思います。あらためてPTA 役員の皆様方、本当にありがとうございました。

さて、先週のベゴニアでも紹介していましたが、17日に不審者対応の避難訓練を実施しました。避難訓練としては、不審者対応だけでなく火事や自然災害等を考えた「安全危機管理マニュアル」を作成しているのですが、土曜日の授業で火を使うことはないため実際に起こる確率が高いのは不審者の侵入と考えられます。その際は新館(1階の全日職員室より奥にある階段側)へ避難し、そのシャッターを全部おろし安全を確保した上で助けを待つ、という避難をすることとなります。また保護者には、10時45分ごろに出したような緊急メールを発信し、状況をお知らせするようにします。

本日の避難訓練ですが、まずは不審者侵入の合言葉である「We have a BEE」を放送で流し、その後、担任の誘導のもと、シャッターが下りる「セーフティールーム」まで移動します。4校時終了後のわずか10分という時間でしたが、どのように逃げればよいのか、また先生方もシャッターをどうやって閉めるのか等の確認ができ、意義のある避難訓練をすることができました。また、子どもたちには「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の頭文字をとった「おかしも」についての話をしました。日本の学校でもこの合言葉で避難訓練をしています。過去には、大事なものを忘れて家事の場所に戻ってしまい命を失ってしまったという悲しい出来事もあったそうです。命よりも大切なものはこの世にありません。「自分の命は自分で守る」ためにも、「おかしも」の合言葉を忘れずにいてほしいです。

最後に確認です。上にも書いていますが、土曜日の10時45分に避難訓練の一斉メールを出しています。学校からの連絡は、このメールを使って行いますので、もしもメールが届いていないという方は補習校まで連絡をお願いします。(02-672-1038)



マロニエ祭に向けた古本回収のお願いについて

前回のベゴニアにも案内として載せましたが、本年度のマロニエ祭古本市に向けて、来週の授業日である6月24日と夏休み明けの最初の日である8月28日に古本の回収を行うそうです。回収する時間は、朝の8時30分～9時30分、玄関ロビーで行います。売り上げは全日・補習校の教育活動にも使わせていただきますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



特集：音読の効果的な取り組みせ方 ～Part 1～

「家庭学習として、音読だけはできるだけ毎日取り組ませてください」と、補習校の入学説明会では私から、保護者の皆さまにこのようにお願いしていました。そのくらい「音読」は大切なものであり、日本語の勉強の基本となるものです。日本でも毎日のように音読の宿題は出されていて、「音読カード」なるものを配付し、保護者に感想を書いてもらいながら毎日取り組んでいます。補習校の子どもたちは、普段の生活の中で日本語を使うことが少ないからこそ、毎日少しでも音読に取り組ませて、日本語に親しんでほしいものです。とはいいいながら、やはり日々忙しい中で、音読に取り組ませる大変さというものもよくわかります。特に保護者の皆さまは様々な仕事をしながら、子どもたちに補習校の宿題に取り組ませる、というのは本当に大変だと思います。ただせっかくやるのならやはり少しでも楽しみながら、そして身になる音読であってほしい、そのような思いで、「音読の効果的な取り組みせ方」について、今週と来週の2号にわたり特集したいと思います。なお、今の時代、ネットでもこのような情報はたくさん手に入りますので、どうぞ興味のある方はいろいろと調べてみてください。今週はまず音読がどのような効果があるのかをお知らせします。



①語彙力や理解力がUPする！

声に出して文章を読むことで言葉の意味をしっかりとらえることができますようになります。黙読だと、意味がなかなか理解できないという子どもも、声に出すと読むことで文章の内容がイメージしやすくなります。さらに文章のまとまりや、言葉の意味を意識したり気にしたりという効果もあります。

②脳が活性化し、記憶力がUPする！

音読の際にはたくさんの感覚を同時に働かせるため、前頭前野や聴覚野といった脳の多くの部分が活性化し、記憶力をアップさせる効果があると言われています。子どもの頃は脳も発達中ということもあり、音読によって前頭前野の外側部にあるワーキングメモリーを刺激すると記憶力アップに効果的だそうです。

③日本語独特のリズムや響きを覚える！

音読を行うことで、日本語独特のリズムや響きが身についてきます。したがって、日本の学習指導要領では、物語等の文章だけでなく、短歌や俳句、古文や漢文なども音読の対象とされています。音読を通じて伝統的な日本語のリズムや響きに親しみ、日本語独特の美しさや楽しさを感じてください。

④コミュニケーション能力が発達する！

上の②にも書いていますが、音読によって前頭前野を刺激することにより、子どものコミュニケーション能力を高める効果があります。前頭前野の発達が未熟な子どもは、自分の気持ちに折り合いをつけるのが難しく、怒りっぽくなったり自分の気持ちをうまく伝えらなくなったりするそうです。コミュニケーションを円滑にするためにも、しっかり音読の練習に励みましょう。



⑤達成感を得ることができる！

音読は同じ文章を繰り返し練習します。繰り返し行うことで、次第にスムーズに読めるようになるため、子ども自身もその成果を感じやすくなります。達成感を得ることで自信もUPし、子どもの自己肯定感も上がること間違いなしです。

その他にも集中力が向上する、声を出すことでストレス解消になる、腹式呼吸が身につく・・・等、音読による効果はたくさんあります。ぜひ、毎日少しでもいいので取り組ませてみてください。次号では、どのような取り組みせ方をすればより効果的なのかについて紹介する予定です。お楽しみに・・・